

令和2年度実証事業について

令和3年3月10日
関東運輸局栃木運輸支局

令和2年度実証事業について

・「令和2年度の『トラック輸送における取引環境・労働時間改善地方協議会』の実施事項について」(別添資料1)により、今年度の協議会の重点取組事項として、新たに紙加工品(紙おむつ・生理用ナプキン)パレット輸送化実証実験を行う。

- 対象事業者**
- 【発荷主:メーカーA社】:紙加工品の製造を行うメーカー
 - 【着荷主:卸売業B社】:紙加工品の卸売事業者
 - 【運送事業者:C社】:貨物自動車運送事業者

実証事業の目的

- ①今後新たにパレット化する製品(紙おむつ等紙加工品)について、着荷主である卸売事業者の意見も踏まえつつ関係者それぞれがメリットを享受できる運用を検討・実証し、スムーズな本格実施に向けた取り組みを行う。
- ②卸売事業者においてパレットでの納品を受け入れる場合に必要となる作業工程の変更点等を洗い出し、本格実施後にスムーズに対応できるようにする。
- ③運送事業者において、従来手積み手降しで運送していた製品をパレット運送することで、トラックの回転数やトラックドライバーの労働生産性(運転時間増減・運行可能距離増減・運賃収入増減)にどのような効果があるか検証する。
- ④トラックドライバーにおいて、荷役・運行の身体的負担軽減にどのような効果があるか検証する。

令和2年度実証事業について

実施事項

①メーカー

- ・新たにパレット化を検討している製品について、試験的にパレットで卸売事業者・メーカー営業倉庫に納品する。
- ・同一構成(商品・数量)にて、バラ積みでも納品し、比較する。
- ・輸送商品は実際の輸送実態(品種混載率90%以上)に準じ、「大人用紙おむつ」「生理用ナプキン」の積み合わせとする。
- ・使用パレットは卸の自動倉庫を前提としたT11型片面2方差しパレット(アクティブ(RFID)タグつき)を使用し、アクティブタグによる自動パレット受払テストを同時に行う。

②卸売事業者

- ・パレットのままでの保管可能性について検討
- ・パレットでの納品を受け入れる場合に必要となる作業工程の変更点等を整理
- ・荷姿やパレットでの納品を受け入れる場合の課題を整理

※使用予定パレット【11型片面2方差し】

1,100mm×1,100mm×144Hmm

重量：24.4kg



令和2年度実証事業について

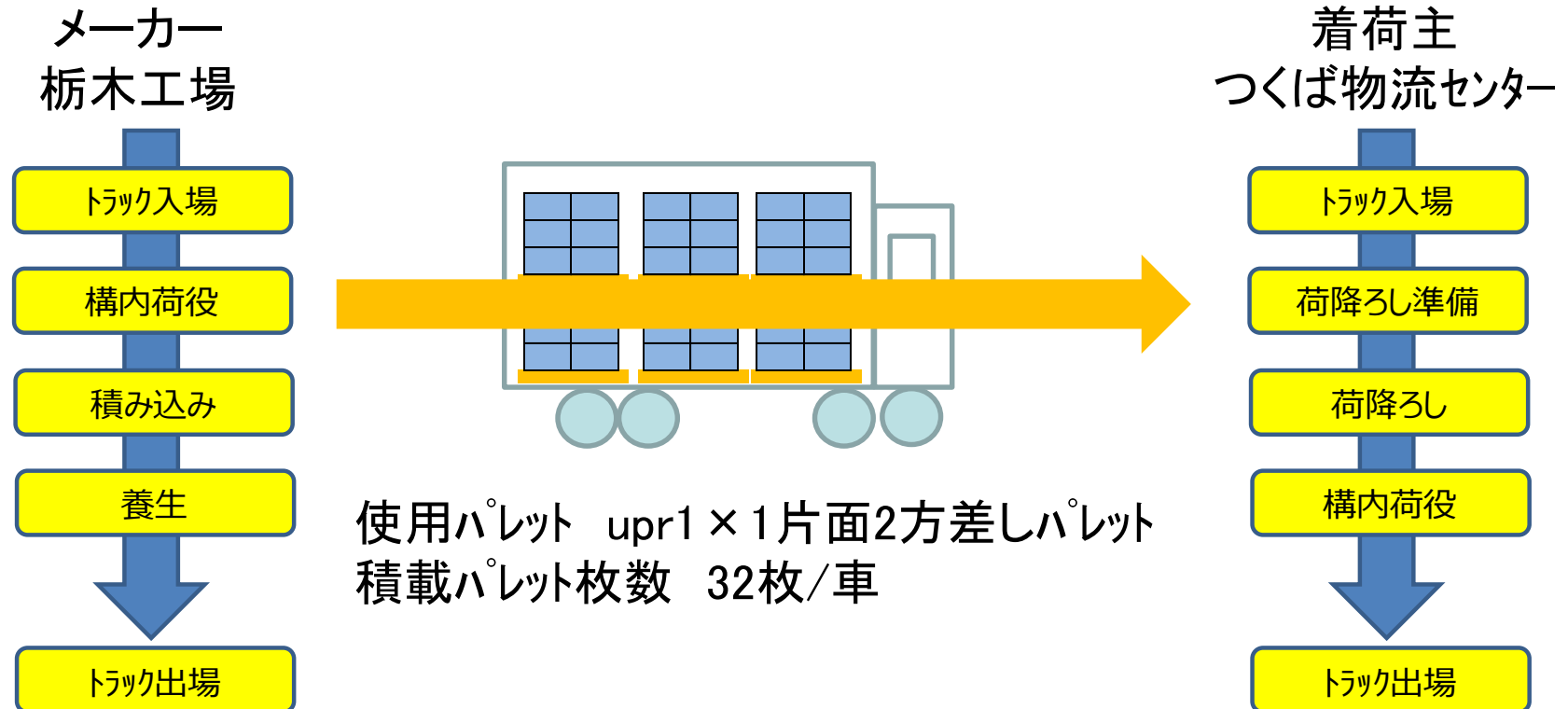
実証実験例

着荷主倉庫への大型車満載工場直納(朝積み)

出荷工場 メーカー栃木工場(栃木県さくら市)

納品先(案) 着荷主つくば物流センター(茨城県土浦市)

運送業者 貨物自動車運送事業者



令和2年度実証事業について

実証実験分析項目

着荷主(卸売事業者)

- ①荷受け作業時間変化によるコスト(はい崩し想定なし)
- ②納品時保管スペース有無
- ③レンタルパレット費用
- ④パレット一時保管スペースに関するコスト
- ⑤午後荷受け対応によるコスト

発荷主(メーカー)

- ①積み込み前荷姿の準備(固縛)作業要否、コスト
- ②荷傷リスク想定と対応(養生等)コスト
- ③積載効率変化と輸送コスト
- ④レンタルパレット費用、回収コスト
- ⑤朝積み⇔宵積み、2ヶ所降しによるコスト低減

運送事業者(貨物自動車運送事業者)

- ①朝積み・宵積み運行比較(運転時間・運行可能距離・運賃収入)
- ②ドライバーの荷役負担増減(身体的負担・時間的負担)

スケジュール

令和3年3月中: 実証実験開始

令和3年3月中: 実証実験の効果測定及び結果の公表